

Topics

● 「新駅の規模」や「新駅のイメージ」、「概算事業費」等について検討を行いましたのでご紹介します。

神奈川県・藤沢市・鎌倉市の三者で組織する「湘南地区整備連絡協議会」において実施した「平成22年度 村岡・深沢地区拠点づくり検討調査」（以下「調査」という。）結果が取りまとめられました。

本号では、その概要（「新駅の規模」、「新駅のイメージ」、「概算事業費」、「駅前広場のイメージ」）についてお知らせします。

広域的なまちづくりの検討経過について

藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区のまちづくりについては、両市の広域的なまちづくりの観点から「村岡・深沢地区全体整備構想検討委員会」（国土交通省、神奈川県、両市、JR東日本等で構成）を設置し、「広域的な視点からの本地区の将来像」やそれを実現するための「インフラ機能等の課題の対応方策」、「まちづくりの推進体制や今後の進め方」等を取りまとめた「村岡・深沢地区全体整備構想（案）」（以下「構想（案）」という。）を平成20年3月に策定しました。（詳細は「深沢まちづくりニュース第12号」参照）

その後、構想（案）の実現に向け「湘南地区整備連絡協議会」において、平成20年度に新駅設置の効果等を検討する「村岡・深沢地区拠点づくり検討調査」（以下「平成20年度調査」という。）を実施し、「極力自動車利用に依存しない、鉄道利用型ライフスタイルの実現」を目指すことを今後の取り組み方針として取りまとめました。（詳細は「深沢まちづくりニュース第14号」参照）



平成22年度は、これまでの検討の深度化を図るために「平成22年度調査」において「新駅の規模」や「新駅のイメージ」、「新駅・自由通路等の概算事業費」、「駅前広場のイメージ」の検討を行いました。

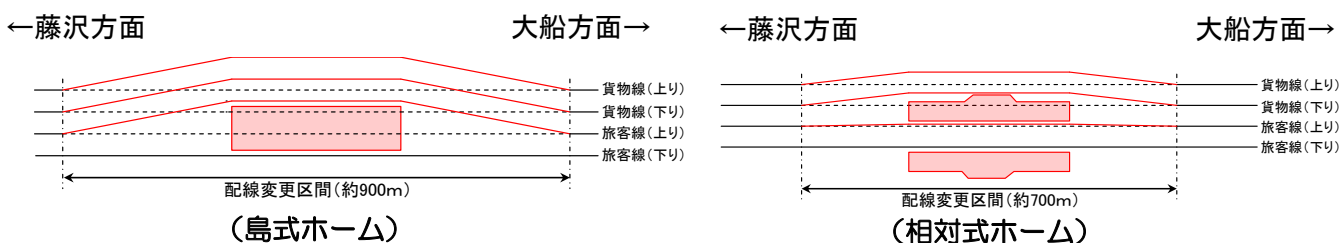
平成22年度村岡・深沢地区拠点づくり検討調査の概要

調査の概要として、「新駅の規模」、「新駅のイメージ」、「概算事業費」、「駅前広場のイメージ」についてご紹介します。

◆前提条件

調査では、新駅乗降客数の設定のほか、調査地域の地理的な条件や新駅への停車列車の想定など、新駅設置に係る基本的な考え方を前提条件として、以下のとおり設定しました。

- 新駅乗降客数 : 約93,000人/日（平成20年度調査より）
- 停車列車 : 普通列車（湘南新宿ラインの快速含む）
- 配線変更の考え方 : 現況線路のカーブの改良など大規模な改良を伴わない
- 新駅のホーム形式 : 「島式ホーム」及び「相対式ホーム」を想定



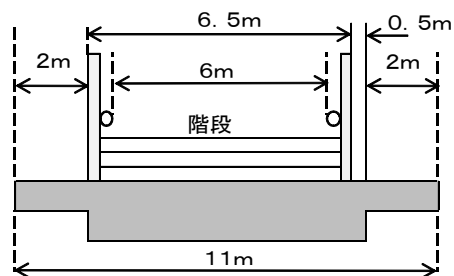
- 駅舎形式 : 橋上駅舎

◆新駅の規模等の検討

新駅の規模等の検討にあたっては、前提条件を基に、新駅と類似する既存駅や鉄道事業者の安全基準、バリアフリーの考え方を踏まえ、ホームや階段の幅員、自由通路の規模の検討を行いました。

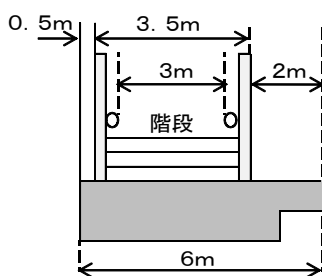
ホームの幅員

○島式ホーム 幅員：11m



○相対式ホーム

幅員：6m



※ホームの延長は、15両編成が停車できる長さとししました。

駅舎の規模

○駅舎規模 1,250㎡

※類似する駅（JR 東海道本線辻堂駅）を参考に検討を行いました。

自由通路の規模

○幅員 12m

※新駅乗降客数を南口と北口に配分し、想定利用者数を基にピーク時の利用者数を検討するとともに、ピーク時の歩行者の快適性を考慮し、幅員の検討を行いました。

◆新駅等のイメージ・概算事業費

新駅のイメージは、前頁の「新駅の規模等」の検討結果や類似駅の駅舎規模を参考にして検討を行いました。また、新駅・自由通路等の概算事業費を、以下の前提条件に基づいて算出しました。

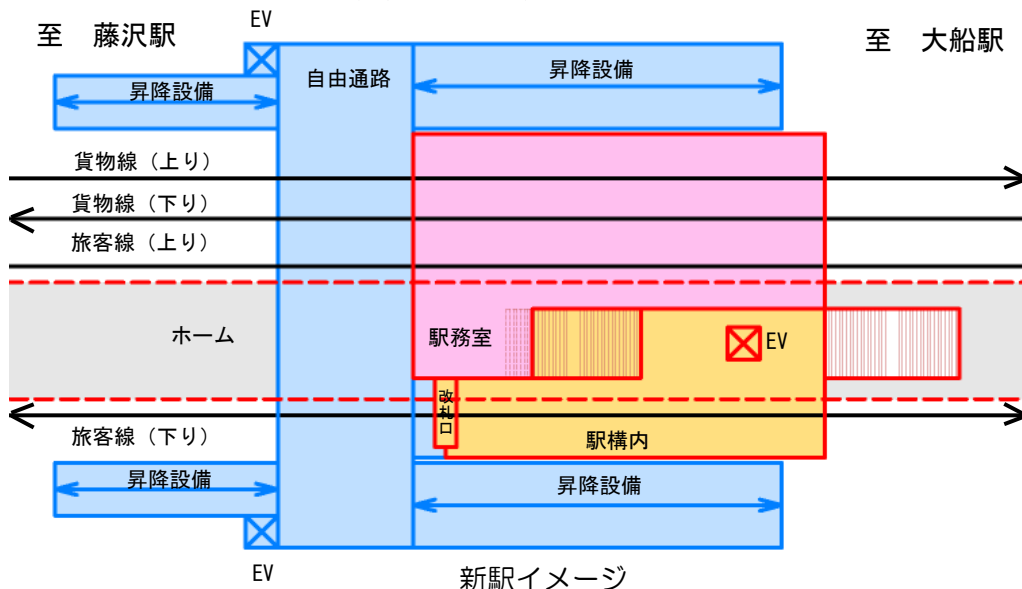
概算事業費算出の前提条件

- ・航空写真や既往調査などを基に算定。（検討時には詳細な測量や調査を行っていないため）
- ・自由通路設置などにより必要となる用地費は計上しない。
- ・測量、設計、工事委託費は諸経費に計上。
- ・現地調査を行っていないことから、地質の影響や地下埋設物の移設などの工事費が新たに生じる可能性がある。

<注意事項>

- ・設備は標準的なグレードに基づいているが、デザインなどにより工事費に変更が生じる。
- ・今後、計画の具体化を進める中で最新のデータなどによる再検証が必要となる。

○新駅の駅舎イメージ（島式ホーム）



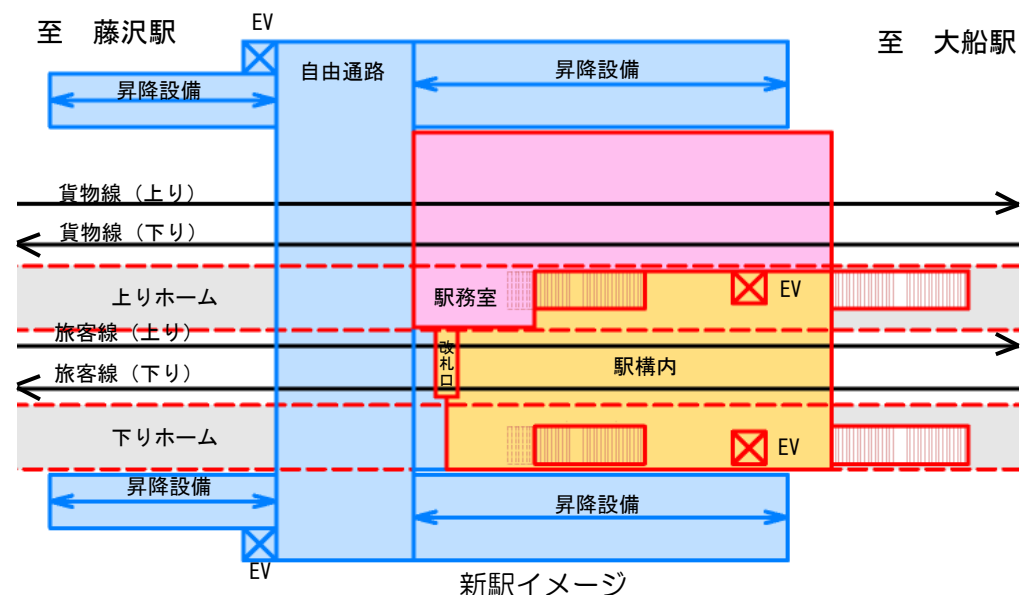
ホーム： 1面

階段： 2か所

概算事業費
約109億円

内訳
駅 関 連：79億円
自由通路関連：30億円

○新駅の駅舎イメージ（相対式ホーム）



ホーム： 2面

階段： 4か所

概算事業費
約99億円

内訳
駅 関 連：71億円
自由通路関連：28億円

◆駅前広場のイメージ

駅前広場の検討にあたっては、前提条件やアクセス道路の位置などを考慮した結果、以下のとおりになりました。（島式ホームを想定して作図）



北口駅前広場

- ・利用者数
45,500人/日
- ・広場面積：約5,300㎡
- ・バスバース：3バース
- ・タクシー乗降車場
- ・一般車乗降スペース
※福祉車両含む

南口駅前広場

- ・利用者数
47,500人/日
- ※南口駅前広場が鎌倉市側になります。
- ・広場面積：約5,300㎡
- ・バスバース：3バース
- ・タクシー乗降車場
- ・一般車乗降スペース
※福祉車両含む

◆今後の課題

- ・新駅設置については、両市のまちづくりを踏まえ、最新のデータなどによる再検証が必要となります。また、計画を具体化する段階では、現況測量や地質調査などを実施して、計画の精度向上を図る必要があります。
- ・事業の推進については、具体的な計画スケジュールの構築を図るとともに、新駅によるまちづくり全体の費用対効果の分析を行い、補助金や民間活力の導入を含めた、事業手法の検討が必要となります。
- ・新駅設置によるまちづくり計画の熟度を高めつつ、新駅設置に対する地元の機運醸成に努め、地元住民や企業との協働を図る必要があります。

次号は、10月23日（日）に開催した第12回深沢地区まちづくり検討部会全体会の状況をお知らせする予定です。

★お知らせ★

同内容を右記のHPにも掲載しております！！今後も、より良いまちづくりに向け、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

計画についての問い合わせ先：

鎌倉市 拠点整備部 鎌倉深沢地域整備課

〒247-0056 鎌倉市大船二丁目7番8号

TEL：0467-44-7071 FAX：0467-47-3029

E-mail：kamafuka@city.kamakura.kanagawa.jp

HP：http://city.kamakura.kanagawa.jp/sangyou_machi/shigaichiseibi/index.html